KIJIMA ORIGINALPARTS
TECHNICAL SERVICE MANUAL

２０２１ｙ～２０２４ｙ　HONDA　レブル　１１００／Ｔ　ＤＣＴ
フィフティーバー　ハンドル
＜商品番号：２０４－３３８８Ａ＞
【取扱説明書】

取付け前に必ずお読みください。

作業時間
1100： 1.0ｈ
1100Ｔ：1.3ｈ

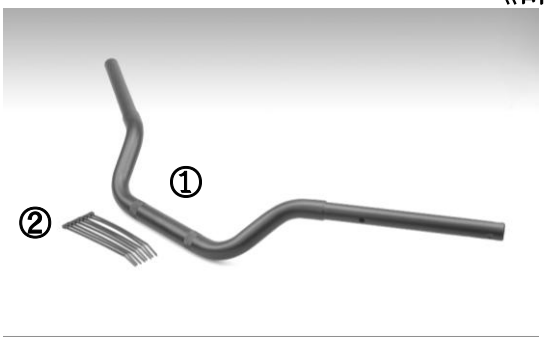
注意

このたびは,当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。
作業にあたられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- 取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- 道路交通法・道路運送車両法を厳守する。
- 運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- 本取付け説明書に則った取付けを行う。
- 本製品への加工を加えない。
- 不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

以上の事柄を必ずお守りください。
万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。
上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。
また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

《部品構成内容》



部番	品名	個数
①	ハンドルバー本体	1
②	タイラップ　180mm	8

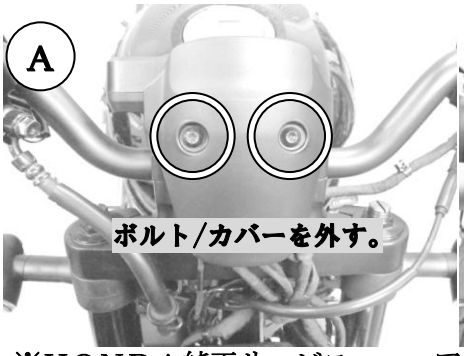
2023 年以降の DCT モデルは、P レバーの形状変更により、ポンチ位置で装着し、ハンドルを左に切った際に P レバーがタンクに干渉する為、ポンチ位置を無視して、P レバーが当たらない位置でハンドルを回転させて下さい。

製品取付けに当たっての注意点

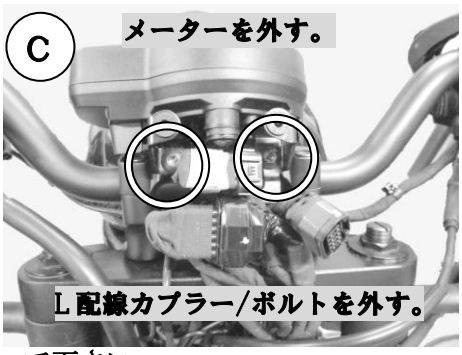
※ 本製品は、2021ｙ～2024ｙ　ＨＯＮＤＡ レブル１１００／Ｔ ＤＣＴ（8BL-SC83）に適合します。
ＳＴＤ（ＭＴ）車は、別売のクラッチケーブルセット（202-9995）をご使用下さい。
※ 本製品は、純正ハンドルに比べて約 50mmバックで高さは約 10mm高くなります。
DCT 車・全幅：-10mm/STD 車・全幅：-5mm ・ STD・DCT 車 全高：＋10mm
（全幅：±20mm/全高：±40mm）保安基準の一定の範囲内に入る為、構造変更の必要はございません。
※ 純正左側グリップヒーター（35520-MLA-305）の取外しの状態により新品に交換する必要がございます。
※ 本製品は、ホース/ハーネス/ワイヤーの変更の必要はありませんが、気になる方は、ブレーキホース等適切な長さに変更して下さい。取回しが変わる為、パーキングブレーキ等の張り点検調整を行って下さい。
※ 本製品は、塗装の厚みに誤差がございます。スロットルを回した時に鈍い場合がございます。その場合ハンドルの製品部をヤスリ等で削って調整してください。
※ 本製品のポンチマークは、あくまで目安です。お好みのハンドルの位置に調整してご使用して下さい。左右にハンドルを切りスイッチＢＯＸ等が干渉する場合には、干渉しない様に調整して下さい。
※ 本製品のスイッチＢＯＸの穴が若干ずれている場合があります。その場合は、穴を広げる等の加工を行ってください。
※ 本製品のバーエンド部には、純正品と同様に M6 ネジを取り付けることができます。
※ 純正部品の取外し／取付け、ボルト／ナットの締め付けについてはメーカー発行サービスマニュアルに基づいて、確実に行ってください。作業中は、必ずメインキーをＯＦＦにする事。
※ 作業中に車体が倒れたりして危険ですので、作業は水平な場所で車体を安定させて行う事。

〈取付け方法〉

※本文中や図中に出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。







※ＨＯＮＤＡ純正サービスマニュアルを参照し、取付け及び取外しを行って下さい。

１、メーターバイザーを取外します。　（写真Ａ参照）

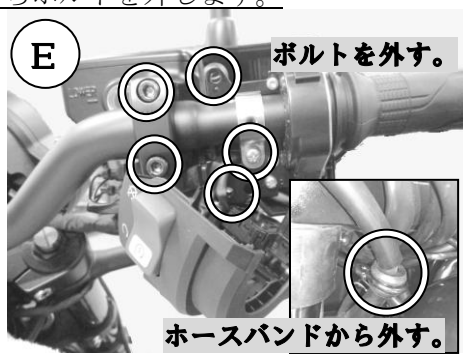
２、左右バーエンド/Ｌサイドカバー/タンク下カバー/左右フロントカバー/各配線バンドを外し、左側グリップヒーターを取外します。※タイラップを必要に応じて再使用または、カットして下さい。　（写真Ｂ参照）

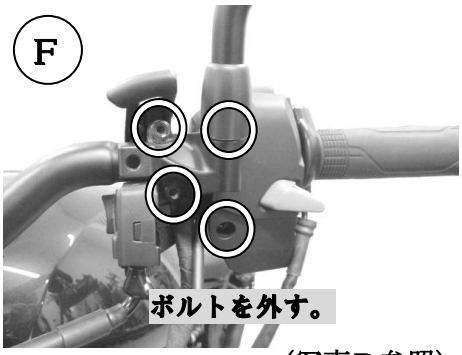
※エンジンをかけて、グリップヒーターをＭＡＸで十分に温めてから引き抜いても故障する場合があります。
作業時にやけど等する場合がございますので、手袋等で保護しながら注意して作業して下さい。
作業時にヒーターが故障又は破壊した場合には、新品（35520-MLA-305）に交換して下さい。

３、ボルトを外し、ブラケットをハンドルクランプからメーターごと取外します。　（写真Ｃ参照）

※Ｌ配線カプラーの接続を外してからボルトを外します。



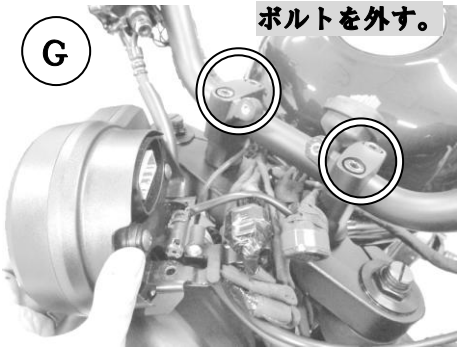


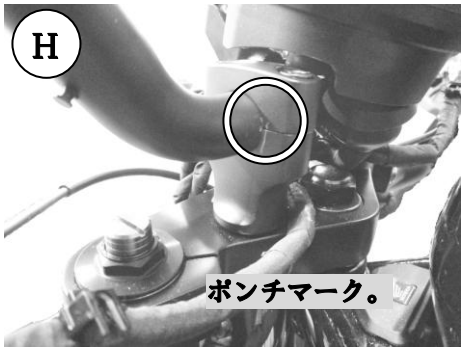


４、各配線クリップを取外します。　（写真Ｄ参照）

５、左右のレバーホルダー/スイッチホルダー/パーキングレバーを取外します。　（写真Ｅ／Ｆ参照）

※ブレーキホースバンドを外し、ブレーキマスターシリンダーをなるべく水平を保ち、エアが入らない様に注意して作業して下さい。





６、ボルトを外し、ハンドルを取外します。　（写真Ｇ参照）

※右側ホルダーは、電子スロットルの為、慎重に取扱って下さい。

７、ハンドル①を純正同様にポンチマークに合わせて、取付けます。

※お好みで角度調整をして下さい。全ての部品を組んだ状態でハンドルをいっぱいに切り、タンク等に干渉しないか確認して下さい。

８、取外しと逆の手順でスイッチＢＯＸ等を組付けます。

※スイッチの角度を調整したい方は、ハンドル①穴を加工して調整して下さい。

※必ずブレーキホースは、ホースバンドに固定しないで下さい。また、ハンドルをいっぱいに切った際の張り感が気になる方は、適切な長さの物に交換してください。

９、各ハーネス純正同様の位置でタイラップ③で固定して、余分な部分をカットし完了です。　（写真Ｈ参照）

※定期的なボルトの締め付け確認を行って下さい。

モーターレク総合開発メーカー　株式会社 キジマ
MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMA co.,ltd.　www.tk-kijima.co.jp
〒123-0841　東京都足立区西新井 4-16-3　TEL. 03-3897-2167　FAX. 03-3897-2138